らいふ

LIFE

松下記念病院

Vol.39 秋号 2017

診療科見学note 糖尿病・内分泌内科

特集 わが国に多い主要5大がん
～がん治療に携わる当院の専門スタッフ～

MATSUSHITA REPORT
フットウェア外来

news
ドック健診センターのご案内
協会けんぽ
生活習慣病予防健診の提携機関に加盟

診療科
見学note

糖尿病・内分泌内科

こんにちは！松下記念病院では５名の医師と医療スタッフで糖尿病と内分泌疾患を主に診療しています。

糖尿病とは、血糖値が高くなる病気です。内分泌というのはいわゆるホルモンのことです。人の体からは多くの種類のホルモンが分泌されており、増えたり減ったりすると様々な症状が出てきます。代表的な疾患は甲状腺疾患です。

吉村　部長 岡田(博)　細見
岡田(優)　三好

糖尿病ってよく聞くけど どんな病気ですか？

糖尿病は増え続けています。日本では境界型糖尿病（予備軍）もあわせるとなんと2000万人近くにもなると予想されています。糖尿病には1型と2型があり、1型はインスリン（血糖値をさげるホルモン）の分泌が著しく低下し多くの場合はインスリン注射が必要です。2型は主に遺伝的な体質の他、食事・運動といった生活習慣の影響を受けてインスリンの分泌が悪くなったり働きが悪くなったりして発症します。それ以外には妊娠時に発症する糖尿病やお薬や肝臓・膵臓の病気によって発症する糖尿病もあります。

糖尿病の 自覚症状って？

代表的な自覚症状は血糖値の上昇に伴う、のどの渇きや多尿です。また疲れやすくなったり、体重が減ったりすることもあります。ただし症状が出にくいこともあり定期的な健診の受診をおすすめします。

糖尿病治療に携わる 医療スタッフの声

臨床検査科の村上です。
検査科では自己血糖測定指導や検査項目についての説明を行っています。この検査で何を調べているの？腎機能はどの検査結果で診ているの？など疑問を抱えておられる方は、お立ち寄りください。

看護師の岩﨑です。
当院の看護師には日本糖尿病療養指導士6人と大阪府糖尿病療養指導士1人がいます。内科受付へ気軽にお声かけください！！

管理栄養士の石原です。
無理なく血糖コントロールできるよう、患者さまに寄り添った栄養指導を心がけています。

糖尿病の治療

糖尿病治療は“健常人とかわらぬ日常生活、寿命の確保”を目標としています。病状によってもちろん様々ですが、一般的には食事療法、運動療法、薬物療法があります。多くのスタッフが協力して、患者さまとともに治療を考えていきます。このことをチーム医療と呼んでいます。もちろん患者さまがチーム医療の中心です！

今回はチーム医療に携わるスタッフと通院されている患者さまの生の声をお届けします！

通院されている患者さまの声

私は高血圧などで近隣の医院へ通院していましたが、糖尿病が悪くなったとのことで松下記念病院を受診しました。栄養士さんから食事療法の指導をうけ、キャベツの千切りを朝食前に1皿、プチトマト2-3個を食べるようにしています。

運動は自転車で万博公園を1周しています。半年間で7kgの減量に成功し、HbA1cはお薬を飲まずに10.8%から7.4%まで良くなりました！糖尿病といわれて特にいやだったことはありません。むしろ、生活が規則正しくなって体重が減り、体が軽くなりました！

68歳 男性　２型糖尿病　糖尿病歴３年

37年間インスリン注射をしています。この病気をいわれて最初は食事をするのがつらかったことを覚えています。それが今では、色々考えられるようになって食事が楽しくなりました。万歩計をつけて毎日10000歩がんばっていますよ。糖尿病患者会（松生会）の活動もしています。興味あるかたは是非一緒に活動しましょう！ウォークラリーや食事会、情報交換などとても楽しいですよ！お待ちしています！

73歳 女性　１型糖尿病　糖尿病歴37年

薬剤師の守谷です。
糖尿病患者さまが安全かつ有効に薬物治療が行えるよう、お薬を通じてサポートさせていただいています。お薬のことは何でもお気軽にご相談ください！

リハビリテーション科の飯田です。
血糖値と運動療法に関する知識や、実際の運動方法の指導などを中心に取り組んでいます。しっかり運動をして、元気で健康な身体を手に入れましょう！

糖尿病についてもっと知りたいという方は毎週水曜日14時から糖尿病教室を開催していますので是非とも一度覗いてみてください。お待ちしています！

特集

わが国に多い主要５大がん

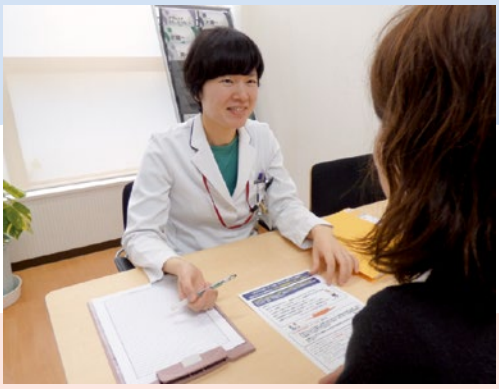
～がん治療に携わる当院の専門スタッフ～

大阪府がん診療拠点病院である当院は、地域におけるがん診療・教育の中核的役割を担っています。わが国に多いがん(5大がん：肺がん・大腸がん・胃がん・乳がん・子宮がん)及び各医療機関が専門とするがんについて、診療の推進・地域の医療機関の連携を強化するための拠点となるものです。
当院の専門的な医療に携わるメディカルスタッフとして、がん薬物療法に精通した薬剤師、がん化学療法等がんの専門看護に精通した看護師、がん診療相談に携わる医療ソーシャルワーカー、かん治療に伴う食事管理をする栄養士、また治療後に日常生活への復帰をめざす作業療法士を紹介します。

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた看護師です。当院では、がん分野として乳がん看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、手術看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師の８名が、外来化学療法室、手術室、一般病棟、緩和ケア病棟で勤務し、がんに罹患(りかん)した患者さまやご家族の支援を行っています。

看護師　松本

がんに罹患すると、身体症状の不安はもちろんのこと「何でがんになってしまったのだろう」と考えこみ、治療や仕事、家庭のことなど様々な心配ごとが心の痛みとして現れることがあります。それらの苦痛の緩和を図り、患者さまとご家族がその人らしく生活できるように支援することが役割だと考え活動しています。



医療ソーシャルワーカー　小林

軽い気持ちで受診したつもりが、検査の結果「がんです」と診断されたら、頭が真っ白になり、医師から今後の治療の話をされても言葉が入ってこない、何をどう考えればよいのかわからなくなり、途方に暮れてしまうこともあると思います。気持ちの整理がつかないまま、病気に向き合わなければならず、これまで普通にできていた家庭での役割が果たせるのか、子どもに何と伝えればよいのか、仕事は続けられるのか、会社へどのように説明すればよいのか、医療費はどれくらいかかるのか、さまざまな不安や問題が表れます。患者さまや患者さまを支えるご家族が、不安や問題を抱えこむことがないよう「認定がん専門相談員」として、共に考え、より良い意思決定や暮らしが送れるよう伴走者になりたいと思っています。お気軽にご相談ください。

薬剤師　宅和

医療の中で薬の安全管理を担うのは薬剤師の重要な役割の一つです。特に抗がん剤は、効果と副作用が隣り合わせで、薬の量が少ないと効果は弱く、薬の量が多いと副作用が強く出ることがあります。患者さま一人一人に合った治療が選択されているか、適正な薬の量が処方されているか、副作用は起こっていないかなどを確認し、必要に応じて医師に処方提案を行います。また、患者さまの疑問や不安を解消し、安心して治療が行えるよう支援します。この役割を担うのが「がん薬物療法認定薬剤師」です。がん薬物療法認定薬剤は、がん診療の専門知識と技能を持ち、がんに精通した薬剤師として、日本病院薬剤師会が認定した資格です。患者さまが安心して納得できるがん治療を続けることができるよう、がんチームの中で薬の安全管理者として、最善なサポートできるよう取り組んでいきます。

がん患者さまにおける栄養管理とがん予防のための食生活の指導など、近年管理栄養士の役割は大きくなっています。

がん専門管理栄養士は「日本病態栄養学会」と「日本栄養士会」が共同認定した資格です。従来がん患者さまの栄養指導は消化器癌術後が主流でしたが、平成28年度から対象が低栄養・がん・嚥下障害にも拡がりました。

当院でもがん化学放射線療法の副作用による食欲不振や口内炎などへの食事対応、栄養価の高い食材・食事などの提案、栄養補助食品や経管栄養の提案など、管理栄養士が介入できるケースが増えています。

栄養士　石原

また積極的な治療を行わず緩和ケアを選択した場合は、ケア食への切り替えが患者さまの尊厳を守るために重要です。

今後も学んだ知識を生かして最適な栄養管理が提供できるように、日々努力していきます。

作業療法士　熊野

～より良い生活が送れるよう
がん患者さまにリハビリテーションを提供します～

がん専門作業療法士はがんに罹患されている患者さまにリハビリテーションを行う専門職種です。がんによる死亡率は年々減少し、がんが不治の病であった時代からがんと共存する時代に変化してきています。当院では入院されている手術前・後、化学療法中・後、放射線療法中・後、終末期の患者さまにがんのリハビリーションを提供しています。がんのリハビリテーションはがん自体が引き起こす体力低下や機能障害、がんの治療による手術・化学療法・放射線療法等の合併症、がんの進行による生活への障害、がんの治療経過に伴う気分の落ち込みなどに対し支援しています。一日でも長くより良い生活を送って頂けるよう支援していくことががん専門作業療法士の役割だと考えています。

特集

わが国に多い主要５大がん

今や日本では、２人に１人はがんにかかり３人に１人はがんで死亡すると言われています。また30年以上にわたって日本人の死因の１位となっていて、平成26年には約368,000人ががんで亡くなっています。

がんの中でも肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、子宮がんは、死亡者数も多く、がん検診の効果が科学的に証明されていて主要な５つのがんと言われています。

胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの５つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されています。

5つのがん(厚労省が指針で検診を勧める5つのがん)

まずは知っておきたい、各種がんの発生部位とその症状

男女合わせて
がん罹患数トップ

胃と胃がん

日本人に多いがんです。死亡者数は肺がん・大腸がんに次いで３位ですが、年間約５万人の方が亡くなっています。食塩を多く取る地域に多いなど食生活との関係が深いがんです。

女性にも急増
がん死亡率のトップ

肺と肺がん

もっとも死亡者数の多いがんで年間７万人以上の方が亡くなっています。喫煙との関係が深いことが科学的に証明されていますが、非喫煙者にも発生します。1998年以来、死亡率がトップのがんです。

マンモグラフィー検診で
早期発見

乳房と乳がん

年間１万人以上の方が亡くなっています。30歳～44歳の女性に多く、35歳以上の方の死亡率が増加しています。早期発見が重要で、早期に見つかれば比較的治りやすいがんです。この40年間で死者は５倍にも増えています。

食の欧米化で
増加傾向

大腸と大腸がん

年間約５万人の方が亡くなっています。死者は胃がんを抜いて第２位となりました。食生活の欧米化に伴って、患者数は増え続けています。部位別には直腸とＳ状結腸のがんで約７割を占めます。
最近は飲酒との関係も指摘されています。

若い世代に増える
頸がん

子宮と子宮がん

がんのできる部位によって子宮頸がんと子宮体がんに分かれます。子宮頸がんは若い世代に増加しており、ヒトパピローマウイルスというウイルスの感染に関係が深いがんです。子宮頸がんは早期発見すれば、治りやすいがんです。

早期で見つけられれば、がんは決して怖い病気ではありません。
「精密検査が必要」と判定されたら早期がんを見つけられるチャンスと考え、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも、より早く精密検査を受けるようにしましょう。

4月より

—足を守るためのフットウェアー

『フットウェア外来』開設

フットウェアとは「靴や靴下など足に履くものの総称」です。

胼胝（たこ）……胼胝（たこ）とは外的なストレスが過度にかかることで、皮膚の角質が異常に増殖して盛り上がった状態です。

外反母趾……足の母趾が第２趾の方に「くの字」に曲がる変形です。一番の原因は「靴」だとされています。

扁　平　足……足には効率よく体重を支えるアーチがありますが、このアーチが崩れ、いわゆる土踏まずがなくなった状態です。

このような足の変形がある方、足趾を切断した方には足に適した「インソール（中敷）」や「靴型装具（補整靴）」で足を守ること必要があります。

フットウェア外来フロー

足の観察、靴に関する相談、足底圧測定、採型、インソール作成または補整靴作成など

糖尿病足病変予防目的、足の変形による足トラブル予防の免荷目的、抗がん剤による手足症候群予防 など

医師指示または対診

治療 → 末梢血管外来

予防 → フットウェア外来

ケア → フットケア外来

足の観察、足底圧測定、採型

①対診・医師の指示
②説明と同意
・インソール（治療用装具）、補正靴（靴型装具）作成にかかる費用・支払い方法・窓口支払いに関する説明

【患者さまの同意・購入意思が確認できた場合】
③意見書作成
④問診・足の観察

【インソール・補正靴の作成】

❶足底圧測定

❷採型

（補正靴の場合）
❸靴型装具の採型

補正靴を作成

仮靴あわせ、色・素材・デザイン

❹チェックシューズで仮合わせ
❺サンプルから色・素材・デザイン選択、相談

補整靴完成

❻補整靴完成

❼実際の装着具合確認
靴の履き方指導
実際の歩行状態確認

実際の装着具合確認と足の観察

インソールや補整靴完成後の足の状態観察

インソールを作成

インソール完成

・普段よく履く靴を何足か持参してもらい、靴の観察とインソールの装着
・靴の履き方指導

news

協会けんぽの生活習慣病予防健診 実施提携医療機関になりました

協会けんぽに加入されている方の生活習慣病予防健診を受診していただけます。

詳しくは、
松下記念病院ドック健診センター**06-6992-5611**
もしくは、協会けんぽのホームページをご覧ください

協会けんぽとは？
「協会けんぽ」は、主に中小企業で働く従業員やその家族の皆様が加入される健康保険制度「全国健康保険協会管掌健康保険」の愛称です。

協会けんぽ 生活習慣病予防健診
お問合せ ドック健診センター **06-6992-5611**
(平日8：30～16：45)

引続き… 当院のドック健診のご利用もよろしくお願いします

ドック健診 5つのコース

料金（税込）

ドック健診コース	45,000円
レディースコース	56,000円
プレミアムコース	110,000円
総合がん健診コース	160,000円
プレミアム総合がん健診コース	男性:240,000円　女性:250,000円

オプション検査 17項目

- 肺がん検査（肺ＣＴ）
- 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）経口
- 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）経鼻注）
- 動脈硬化検査（血圧脈波検査）
- 経腟超音波検査（超音波診断）
- 乳がん検査（マンモグラフィー）
- 乳がん検査（乳房超音波検査 ）
- 骨密度検査（DEXA法）
- 消化器マーカー検査（CEA・CA19-9）
- Ｃ型肝炎検査（血液検査）
- ピロリ菌検査（血液検査）
- アレルゲン検査36種類（血液検査）【鼻炎/喘息/アトピー】
- 視野検査
- 脳ドック検査（MRI・MRA）
- 頚動脈超音波
- 甲状腺検査（血液検査）
- 心臓病検査（血液検査）

注）血液をサラサラにするお薬を飲んでおられる方は、経鼻内視鏡はできませんので、 経口内視鏡をお申し込みください。

詳しくはHPをご覧ください。

松下記念病院 ドック健診
TEL予約 ドック健診予約フリーダイヤル **0120-130533**
(平日8：30～16：45)
インターネット予約

発行
お問合せ・ご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
松下記念病院 広報委員会 〒570-8540 大阪府守口市外島町5番55号
Tel.06-6992-1231（代表）　Fax.06-6992-5808
http://phio.panasonic.co.jp/kinen/

HPにアクセス！

日本医療機能評価機構認定 (Ver.6.0)

プライバシーマーク 14650004(05) 取得